

支援者(チーム)役割分担シートの使い方

目的

支援者や成年後見人の方々が一人で困らないよう、関係者間での役割分担や本人の意思確認が見える化し、今後の支援の方向性を具体的にするためのシートです。

内容

4種類のシートがあり、それぞれの使い分けは以下のとおりです。

支援者(チーム)役割分担シート

福祉サービスの利用や入院、入所の際にどんな場面で困難が生じるのかを想定し、誰にどのような支援をしてほしいか、チームとして役割分担をしておくためのシートです。

本人意思確認シート①

突然の事故や病気、認知症等で自分の意志や希望を伝えることができなくなった時に備え、前もって医療やケアに対する希望や考えを周りの人たちと話し合っていたためのシートです。

本人意思確認シート②

自分が亡くなった後の葬儀などに対する思いや希望を記録しておくためのシートです。

死後事務確認シート

自分が亡くなった後の事務手続きなどについて、役割分担を関係者間で決めておくためのシートです。

補足

支援者役割分担シートは、判断能力があるうちに活用していただくものになっており、支援者間で話し合いを行う際に活用していただければと思います。しかし、おそらく1回の話し合いでは埋まらない内容であり、死後のことに関してはとてもデリケートな話になってくるため、それぞれの段階で必要な時に必要なシートを上手くご活用していただければと思います。